

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ハートフェルト			
○保護者評価実施期間	R7年9月1日 ～ R7年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	R7年9月1日 ～ R7年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用状況に応じて、職員の配置数を増員しています。	職員の配置数は、通常のスタッフのほか、医療職のスポンサー勤務を導入するなど可能な限り多めにしており、送迎等で支援の質が下がらないよう心がけています。	長く事業所の中心となってくれる人材を育成するため、研修等の機会があれば積極的に受講させています。
2	放課後等デイサービスに加え、保育所等訪問支援も行っているため、利用児童の通学する学校との繋がりが強く情報交換がしやすい環境にあります。	利用児童の通学先の担任だけでなく、必要に応じて管理職とも面談や会議を行い、情報交換を行っています。	利用児童や保護者のお困りごとに寄り添い、放課後等デイサービス、支援先施設、保護者の3者で協力体制を構築していけるよう努めてまいります。
3	療育システムのHUGやビジネスチャットのChatworkを駆使して、IT化により迅速で正確な連絡体制を整えています。	イベントのお知らせや送迎の変更追加のチャット、デジタルサインの導入等により、保護者との抜け漏れのない情報交換とその迅速化。また、これらによるスタッフの業務効率化を進めています。	IT化のみに頼らず、保護者との対面による面談や保護者会を開催する機会を設けて、心のこもった支援につなげてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型における人員配置・業務調整の難しさ。	放課後等デイサービスと保育所等訪問支援を併設していますが、令和6年度以降、兼務職員の勤務時間配分等の条件が厳しくなっており、人員計画・勤務体制の最適化が課題となっています。	PT及びOTのパート職員を採用したことにより、保育所等訪問支援のみならず、放課後等デイサービスの支援スタッフとしても支援してもらうことができています。今後は充実した支援を継続できるよう、利用児童数の安定確保も必要になってきます。
2	事業所内の各スペースがあまり広くはないため、活動の仕方に工夫が必要。	低学年や高学年の平日の下校時間にズレが生じることから、活動に取り組む子と学習に取り組む子のエリア分けが必要です。	下校時刻の遅い児童が来所する時間帯は、すでに来所している児童に公園等で外出活動をさせたり、事業所内のパーテーションでエリアを分けて静かに過ごせる活動に集中させるなど、全員が各自の活動に取り組める環境づくりに努めています。
3	どうしても保護者への連絡が行き届かない場合があります。	療育システムHUGの活用により、デジタル化を進めていますがお仕事で忙しく電話等の連絡がつきにくい場合もあり、保護者連絡にタイムラグが発生することがあります。	保護者会や対面の面談時に、改めてHUGやChatworkの利用方法のご説明を行う等、デジタル化の推進を促しつつ、対面やお電話等による日頃からの保護者との繋がりを密にするよう努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ハートフェルト

公表日 年月日 R7年10月20日

利用児童数 年月日 R7年9月30日 19名

回収数 16名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1	0		行政指導に基づいたスペースを確保し、パーティションや部屋の使い分けで工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	2		国の基準を満たしたうえで、児童の特性に応じた配置となるよう努めています。また、常勤職員に加え、パート職員とします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	1		導線の明確化や視覚的サポート、音や照明への配慮など、障害特性に応じた工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3	0	0		毎日の清掃と整理整頓を徹底し、落ち着いた過ごせる空間づくりに取り組んでいます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		保育士・児童指導員・専門職が連携し、児童の特性に合わせた支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		事業所のホームページ等で公表している内容と、日々の活動が一致するよう運営しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		アセスメントや面談を踏まえ、保護者のご意見も取り入れて作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		ガイドラインの各支援領域から必要な支援項目を選定し、具体的な内容に落とし込んでいます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		計画に基づいて日々の支援を行い、定期的な見直しを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0		月ごとにテーマを変え、選択活動や季節行事など多様な体験を取り入れています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	0	1		公園活動や行事などを通じて、自然形で地域とのつながりをもっています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		契約時に重要事項を対面で詳細にご説明しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		ご面談の際に計画書を基に具体的な支援内容をご説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	2		家庭支援や必要に応じた情報提供・個別相談を行う体制を整えております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	0	0		送迎時や提供記録・チャットなどを通じて、こまめな共有を心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	0	0		計画更新時に面談を行い、ご家庭での困りごとなども伺っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0		一人ひとりに寄り添った丁寧な関わりを大切にしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	0	1		年に一度、保護者会を開催しております。参加できないご家庭には概要を配布しております。その他、今後ご要望に応じた機会も検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1		管理者の相談窓口だけでなく、主任を中心とした情報共有により、迅速に対応できる体制を整えています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	1		視覚的な補助や分かりやすい言葉づかいに努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	0		ことあるごとに保護者連絡チャットを活用して迅速な情報発信を行っており、また、ホームページ等も活用して随時情報
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		プライバシーポリシーを定め、スタッフ全員に徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	1		各種マニュアルを作成し、事業所内への掲示や書棚への保管により、閲覧可能な状態にしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	2		避難・誘導訓練を年に数回実施し、児童にも丁寧に説明しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		ホームページ等に安全計画を掲載するなど必要な内容をお知らせし、安全な運営を心がけています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1		万一の際は速やかに状況説明と再発防止策をご報告いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		安心して過ごせる関係性と環境づくりに日々努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0		「また行きたい」と言っていたけるような活動を心がけています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		日々のご意見を支援の質向上につなげられるよう努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービス ハートフェルト			公表日	R7年 10月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーテーションを有効活用している 限られたスペースを有効に使うため、適宜配置を工夫したり活動時間をずらしたりしている	専用の学習スペースが有ればさらに良い
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの状態に応じ、基準以上の職員を配置する体制を整えている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動内容に応じてスペースを区切り、視覚的な工夫も取り入れています。また、感覚過敏や安全面に配慮した備品配置・空間設計を心がけている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		ホワイトボードを活用して活動に合わせた空間ができています	空気清浄機を設置しているが、季節によりカビ等の発生がある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別室や静養スペースを利用できる環境を整えている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議やチャットで目標設定と振り返りを行い、職員全員に周知している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートを実施し、結果を業務改善に反映している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員アンケートや意見交換の場を設け、改善に活かしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	保護者や外部機関の意見をよく取り入れている	第三者評価は実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修・法人内研修やマニュアルの整備により職員のスキルアップを図っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成・公表（HP等）し、透明性を確保している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを丁寧に言い、保護者と共有し計画に反映している	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成時には関わる職員全員からの日頃の意見等を集約して検討し、最善の利益を重視している	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した計画を全職員に共有し、支援の一貫性を保っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		HUGやChatworkの活用により、こどもの適応行動を確認している	
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人・家族・移行・地域支援の4視点を取り入れて計画を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは主任等を中心とした職員チームで話し合いながら立案しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		調べながら良いと思ったら提案をしている 繰り返しのトレーニングと新しい活動をバ ランスよく取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放 課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団の活動をバランスよく組み合 わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○		支援開始前に必ず打合せを行い、役割を 明確にしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後の振り返りで気づきを共有し、改 善につなげている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	○		毎日の記録を徹底し、次回の支援改善に 活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期モニタリングにより計画を必要に応 じて見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせた支援を実 施している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		ホワイトボードを使い子どもが自ら選択で きるようになっている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には子どもの状況をよく知る 職員が参加あるいはその意見を集約のう え意見表明している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療・福祉・教育機関と連携体制を整え ている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	○		学校と下校時刻や行事予定を共有し、連 絡調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要があれば就学前の関係機関と情報共 有し、支援の継続性を図ることが可能	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	○		卒業時には移行先事業所へ支援内容を情 報提供する体制を整備している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		センターからの情報がなく、研修等の機会が ない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	○			近隣のクラブ等との交流を定期的に行えら ばなお良い
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会等にはスタッフの代表者 が積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	○		保護者と日常的に情報を伝え合い、共通 理解を持つよう努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングや研修情報を提 供し、家族支援を実施している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	○		利用規程やプログラムについて丁寧に説 明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時に本人や保護者の意思を確認 する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画を示しながら支援内容を説明し、同 意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者の子育て相談に応じ、必要に応じて助言や支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を年1回開催している。きょうだい同士で交流する機会も検討する	年に1回なので保護者と交流したい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付体制を整備し、迅速かつ適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Chatwork・HUG・HPを活用し、活動や行事予定を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報適切に管理し、漏えい防止に努めている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーション方法を工夫し、意思疎通に配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域行事への参加は行っている	土曜日に参加できる地域行事自体が少ないのが現状
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、職員・家族に周知し、訓練も実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、防災訓練を定期的に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		支援前に服薬・発作等の情報を確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書に基づき、アレルギー対応を実施している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、研修や訓練を行い、安全な支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の内容をHPで保護者に周知し、協力を得ている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し、再発防止策を検討している	事業所ドアのところにコーンを置くことをもう一度検討したい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を実施し、体制を整備している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の方針を定め、事前に保護者へ説明・同意を得ている	